

真宗佛光寺派
大阪教区・
別院だより

大悲

第6号

平成24年(2012年)
7月1日 発行



大阪別院内陣

ブータン王国への旅が盛況だそうです。昨年来日した国王夫妻の人柄や、その礼儀正しさも影響しているのでしょう。

この国では、金銭的・物質的ではなく、精神的な豊かさを幸せの指標にしています。数年前の調査では国民の97%が「幸せ」と答え、「世界一幸せな国」ともいわれています。

そこには幸せがあるに違いない、という思いが人気に拍車をかけているのでしょう。

しかし、人々の生活は質素そのもので、便利で快適なものなどありません。ブータンの人々が「幸せ」なのは、今の状況、今ある自分を受け入れているからなのです。

今が不満だといって日本を脱出したところで、そこにいるのは如何なる状況であっても満足できない私そのもの。

幸せとは決して求めるものではなく、今、生きている中に「本当の幸せ」があるのだと、仏教国・ブータンの人々は教えてくれているのでしょう。

(隅谷俊紀)

と う ひ が ん 到 彼 岸



～大阪別院
彼岸会法話より～

西光寺 寿栄松正顕
すえまつ まさあき

今回は宗祖親鸞聖人七五〇回大遠忌にあたり親鸞聖人のご生涯についてお話させていただきます。

親鸞聖人は一一七三年に貴族の家に誕生され、両親との別離により九歳の時に、青蓮院にて得度されます。その後、比叡山に入り二十年間、堂僧として過ごされます。そして二十九歳の時、比叡山での求道に行き詰まり、下山することになります。比叡山を降り京都の

六角堂で百日間の参籠を行い、九十五日、夢のおつげをうけられ吉水の法然上人のもとを訪ねられます。

お念仏との出遇い

そして百日間、法然上人のもとに通い念仏の教えを聞かれ、そこで念仏者として生きることを決意されます。

この念仏の教えを受け入れられない比叡山の僧侶たちが、念仏停止の訴えを起こします。法然上人ら一九〇名は、他宗のことを悪く言わないなどの文書に署名を行いました。しかし、その翌年（一二〇五年）興福寺から出された

奏状がきっかけとなり念仏の停止、法然上人とその弟子達は罰せられ、親鸞聖人は越後に流罪となります。流罪の生活は五年に及びました。流罪放免後、間もなく法然上人が亡くなられ、親鸞聖人は京都の地に帰られた後、関東へ

お念仏の教えを広めるべく向かわれました。

その後、親鸞聖人六十歳を越えた頃、京都に戻られ『教行信証』（この書物の中に正信偈があります）や和讃の執筆活動をされます。また仮名書きの著作やお手紙を、遠く離れた関東の同朋に念仏の大切さを伝えるために書かれることになります。そして、一二六二年十一月二十八日、九十歳で入滅なされます。

公家社会から武家社会への変動期にお念仏の教えを世の中に広められ、一切衆生が救われる道を示してくださいました。

（平成23年3月18日勤修の

大阪別院彼岸会法話より）



如^{によ}是^ぜ我^が聞^{もん}

「帰三宝偈^{きさんぼうげ}」に聞く

新潟教区・瑞林寺 廣澤晃隆^{ひろさわこうりゅう}師



ていただきました。

悲しみと共に生きる

平成24年2月24日に廣澤晃隆師を講師に迎え、法友会研修会が開催されました。

どういふことなのかを問いとして講義されました。

だと話されました。

讃嘆^{さんたん}供養^{くよう}の道程

「帰三宝偈」とは、七高僧の第五祖である善導^{ぜんどう}大師が書かれた論文の中の、仏をほめたたえる偈^{うた}です。葬儀式には必ず勤められる偈文^{げもん}でもありません。ではなぜ、葬儀式でつとめられるのか。法要は誰のために行うのか。また供養とは

その偈の前書きについて、親鸞聖人が訓読された読みを見ますと「先ず大衆を勧めます。みなもろともに、願を発し、三宝に帰依するべきです」と言い切られています。廣澤師は、この偈文は決して死者に手向ける内容ではなく、親族・知友の死を目の当たりにして、仏法に目覚めよと、今まさに悲しみ苦しみに沈む我々を救わんと語りかけてこられるの

親鸞聖人は「大衆であり、

また大衆を生きるしかないわが身の救いのために、仏法はたらいっている」とされた善導大師の信心を正信偈で「善導^{ぜんどう}独明^{どくみょう}仏正意^{ぶつしょうい}」（善導独り仏の正意を明せり）と示されました。

善導大師はご自身の身の上になしたかな仏法をいただく、一切衆生に勧められる教えを、我が一人がための仏法であると受け止められたのだと教え

法事・法要を勤めることの意味は、死者に供え物を捧げたり、仏にもうこれ以上、私に不幸をもたらさないようにお守りくださいと願うことではなく、大切な親族や知友の死をご縁として、先祖から賜ったこの身がただごとではない命であることに驚き、そして慶ぶことなのです。

苦悩する私自身が真実の法を求め、聞法へと促される時、悲しみと共に生きる身となると、それこそが仏法の要である、聞かせていただきました。

（葦名 彰 記）

大阪探検

ちんどうしょうさい
清粥小菜

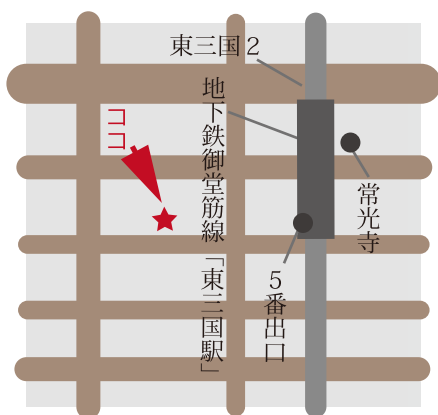
めい
明



ご主人の内田法明さん（丸囲みは甕の看板）



滋味あふれる中華粥



大阪市淀川区東三国 4-17-5

電話 06-6396-2183

定休日：日曜日、祝・水曜日の昼
地下鉄御堂筋線「東三国駅」

5番出口から徒歩3分

うか、これまで何処でも食べたことのない未知の味だったのです。

（佐々木太二）
深い味わいのわけはご主人のこんなお人柄かもしれませんね。

地下鉄御堂筋線東三国駅の駅前にある「清粥小菜明」さん。各地の有名ホテルで修行された内田法明さんが5年前にオープンされました。ご主人のこだわりの選び抜かれた紹興酒類、京都の無農薬・無肥料の野菜や珍しい魚介など旬の素材を活かした個性的な美味この上ないお料理、締めめの滋味あふれる中華粥が有名な東三国の名店です。

優しくて繊細で、それでいてパンチは効いていて、心をわしづかみにするような、と申しましようか。
その晩、一人カウンターで静かに料理を味わい終わったお客さんがため息をつき、ご主人に両手を合わせて「幸せでした」と御礼を言っておられたのもとても印象的でした。人を幸せにできるお料理っていいですね。

私は初めて紹興酒の甕の絵の看板に惹かれてふらりとお店に入ったときに、あっさりしているのに深い味のお料理に感動しました。何というか、これまで何処でも食べたことのない未知の味だったのです。

お酒もお料理もちろん素晴らしいのですが、何より帰るときにご主人はいつも丁寧に店の外まで出て見送ってくれるのです。顔の見えるお客様一人一人とご縁を大切にされています。深い味わいのわけはご主人のこんなお人柄かもしれませんね。

ごえんさんを訪ねて

如来寺（兵庫）ふじたに しんどう 藤谷信道 住職



本年の花まつりにはご門徒様や通りがかりの方、約150名が来られました

藤谷信道住職の如来寺は大正15年に芦屋精舎しやうけとして建立されました。開基は、仮死状態から四時間後に蘇生した如来にょらい志希しきという女性です。その後、昭和19年に真宗佛光寺派に所属し、寺号を如来寺と改めました。

三代目の藤谷住職は祖父秀道師より継職されましたが、当時の如来寺には門徒が一軒も無かったそうです。しかし徐々に門徒数も増え、お寺としての形が整っていき

ます。



いのちの塔

いのちの塔

その矢先、平成7年の阪神淡路大震災により如来寺は倒壊してまいります。しかし三年を待たずに本堂は再建され、さらに今年には、如来堂（一階納骨堂、二階お堂）を新築されるということです。また震災により境内にあった立派な十三重の石塔も倒壊しましたが、震災モニュメントとして新たに復元されました。住職は震災の記憶を子々孫々に伝えていきたいという考えから、この石塔を「いのち

の塔」と名づけられました。

まずはご縁を

住職は工学部で学び、エンジニアとして働いていたという経歴の持ち主でもあり、寺院活動においても「最初からむづかしい教えではなく、まずはお寺とご縁を結んでもらうための情報発信をもっと大事にしなければ」という思いで、花まつりや、地藏盆、大きな揭示版、電話相談へ仏事・仏教・心の悩みなど地域に開かれたお寺をめざしておられます。（門川崇志）

■如来寺（にょらいじ）

〒659-0072

兵庫県芦屋市川西町8-6

〈仏事・仏教・

心の悩み電話相談〉

電話 0797-31-2862

Fax 0797-23-6163

阪神電鉄「芦屋駅」より

徒歩4分

大悲トピックス

■大阪別院・法務担当の交代

大阪別院の法務担当が交代いたしました。3月31日付をもって道野眞澄氏（超願寺）が退任され、4月1日付で藤野良昭氏（光津寺）が着任されました。

退任にあたり道野氏は「5人の輪番に約40年間仕えさせていただきました。本当にありがとうございました。この度、一身上の都合で退任させていただきました。藤野氏に引き継ぎますが、私にいただいたご厚情以上のご支援ご協力をお願い申し上げます」と感想を述べられました。



道野氏(左)と藤野氏(大阪別院にて)

また藤野氏は「長年勤められた道野氏にはまだまだおよびませんが、頑張って参りますので、これからよろしくお願ひします」と抱負を語られました。

■新役員紹介

各会で総会が開催され新役員が決定しましたのでご紹介します（敬称略）。

法友会

▽会長・藤野良昭（光津寺）

▽副会長・葦名 彰（妙圓寺）

▽書記・中院秀昭（光源寺）

▽会計・隅谷俊紀（高照寺）

▽監事・佐々木太一（常光寺）

▽理事・寿栄松正信（西光寺）

▽理事・白鷺洲秀信（福泉寺）

▽理事・勝部正典（光圓寺）

▽理事・葛 義雄（松林寺）

▽理事・向井公夫（宝林寺）

▽理事・松野正剛（光念寺）

さつき会

▽会長・隅谷朋子（高照寺）

▽副会長・藤井紀子（仏願寺）

▽書記・行友由美（光宝寺）

▽会計・渚真理子（安養寺）

▽監事・白鷺洲智佐登（福泉寺）

佛青懇和会

▽会長・藤井真幹（宝林寺）

▽副会長・白鷺洲秀信（福泉寺）

▽副会長兼会計・寿栄松正顕（西光寺）

▽書記・玉出宗順（光福寺）

▽研修・道野真弘（超願寺）

▽研修・日下貴行（兵庫・常福寺）

▽監事・門川崇志（浄方寺）

■さつき会・大阪別院に掛時計を寄贈

4月14日、さつき会から大阪別院に掛時計が寄贈されました。中井輪番は「早速、研修



玉出佳世子会長(当時)(右)と木村昭子副会長(当時)(中央)から、掛時計を受け取る中井賢隆輪番。左下の写真は寄贈された掛時計

ホールに掛けさせていただきました。と謝意をあらわされました。

■懇志お礼

三重県いなべ市 東光寺様

滋賀県大津市 専光寺様

岡山県真庭市 正覚寺様

三重県亀山市 長徳寺様

兵庫県芦屋市 如来寺様

滋賀県守山市 西光寺様



だ い ひ 絵 日 記

- 4月26日(木) 大悲の会編集会議(第6号読み合わせ)
 4月30日(月) 佛青懇和会総会 ①
 5月14日(月) 大悲の会編集会議(第6号読み合わせ)(常光寺にて)
 5月18日(金) 大阪教区総会・法友会総会 ②
 5月22日(火) さつき会総会 ③
 6月25日(月) 大悲の会編集会議(第6号発送作業・第7号内容検討)
 6月26日(火) さつき会研修会(『大経』偈文に聞く・講師:門川崇志 師)
 6月26日(火) ~ 27日(水) 佛青懇和会一泊研修会(座談会)



燦ホールディングス グループ
 なごみ庵
きた・は・あ
 KITAHAMA

法要料理
 希望の場所までお届けします。

- 四條畷店 ☎0743-78-7521
- 瓜破店 ☎06-6769-0140
- 伊丹店 ☎072-773-7531

※2012年5月現在 [2-0132]

御本山 近 用達
 株式会社 **川勝法衣店**

フリーダイヤル 0120-075-055
 (〒600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075) 371-0367(代)
 FAX (075) 371-5088

御本山佛光寺御用達
井筒法衣店
 社長 幾田 潤

〒600-8503
 京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)

フリーダイヤルTEL 0120-075-720番
 フリーダイヤルFAX 0120-075-490番

株式会社 **モントラベル**

〒550-0013
 大阪市西区新町1-8-1 行成ビル
 TEL. 06-6531-1344
 FAX. 06-6531-1346
<http://www.monto.co.jp>
 仏跡参拝ならお任せください!

(株) 小林造園

代表取締役: 小林正典
 〒603-8442
 京都市北区西野山東町 36-1
 tel 075-491-4256
 fax 075-491-9432

燦ホールディングス グループ
 まごころ葬儀を創造する。

公益社

公益社 ご葬儀相談センター (24時間・365日受付・通話料無料・携帯電話OK。)
0120-567-701
 ※2012年5月現在 [2-0131]

協 賛

法 友 会
 さ つ き 会
 佛 青 懇 和 会

大善院

住職: 佐々木正祥
 〒600-8084
 京都市下京区新開町397-9
 tel 075-351-4883
 fax 075-351-4883

慶事・仏事・各種会合などの際は
 和光庵のお料理を御利用下さい。

0120-11-5680
 仕出しは年中無休 ※年末年始除く

株式会社 和光庵 京懐石
 〒543-0073
 大阪市天王寺区生玉寺町3-32
<http://www.wakouan.co.jp>

大阪教区・別院 行事予定

大阪別院（どなた様でもお参りいただけます）

8月13日（月）午後2時 孟蘭盆会

8月14日（火）午後2時 孟蘭盆会

8月15日（水）午後2時 孟蘭盆会

9月19日（水）午後2時 彼岸会

法話：佐々木太一 師（常光寺）

9月22日（土・祝）午後2時 彼岸会

法話：隅谷俊紀 師（高照寺）

9月25日（火）午後2時 彼岸会

法話：寿栄松正顕 師（西光寺）

法友会（住職会）

7月6日（金）午後7時 研修会

講題：伽陀について

講師：吉田 譲 師（光明寺）

9月 研修会（日程・内容未定）

さつき会（坊守会）

7月24日（火）25日（水）

本山坊守研修会（場所：本山佛光寺）

9月 研修会（日程・内容未定）

佛青懇和会（青年会）

7月17日（火）午後6時 懇親会

阪神百貨店屋上ビアガーデン

9月 懇親会（日程・内容・場所未定）

大悲の会（『大悲』編集会議）

7月26日（木）午後6時 編集会議

8月29日（水）午後6時 編集会議

9月25日（火）午後6時 編集会議

※場所明記のない行事は大阪別院で開催

編集後記

★大阪教区および別院の行事に関連した内容を『大悲』に掲載しています。2頁「到彼岸」は、大阪別院で春秋あわせて6回お勤めされます彼岸会の中から、布教使自身が法話内容を書きつづっています。また3頁「如是我聞」は大阪教区の各会（法友会、さつき会、佛青懇和会）で開催された研修会の中から、聴聞記

として担当者が執筆しています。★『大悲』は大阪教区・別院の情報を各寺院へお伝えする「広報誌」として、また一方ではご門徒の皆様へお念仏の教えをお伝えする「伝道誌」として発行させていただいております。ちょっと欲張りな『大悲』をこれからもよろしく願います。（隅谷俊紀）

大阪教区・別院だより『大悲』 第6号

平成24年(2012年)7月1日発行（発行部数1500部）

発行：大悲の会

事務所：佛光寺大阪別院内

〒558-0011 大阪市住吉区荻田6-11-24 電話 06-6691-1362

郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」

大悲の会

長田 譲(会長) 門川崇志(監事)

隅谷俊紀(副会長) 佐々木太一

寿栄松正顕(会計) 葦名 彰

玉出宗順(会計)